

## 令和5年度都立大島高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの基礎を定着させる</li> <li>・「話すこと・聞くこと」の指導の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・音読指導及び漢字の読み取り練習を繰り返す</li> <li>・読書活動の奨励</li> <li>・「話し合うこと」の指導に関する言語活動について学校図書館と連携する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書評大会に向けたプレゼンテーション・コンテストの実施</li> <li>・大学入試レベルの問題演習</li> <li>・学校図書館を活用した「話すこと・聞くこと」についての指導方法の開発</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の定着</li> <li>・自らの考えを表現する学習活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テストや学習に遅れがちな生徒に対する補講の実施</li> <li>・現代の諸課題や歴史的事象を読み取り、表現する授業の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査ごとに、学習過程や取り組みをワークシートで振り返り、到達度を確認する</li> <li>・協働的な活動から、他者の考えを取り入れ、自らの学びを深める</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な事項の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な概念を理解することで数学的な考え方が出来るようになるということを理解させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで難しい課題に取り組むことが出来るようにする</li> <li>・互いに教え合うことでより理解を深めるようにする</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>「探究の過程」を踏まえた学習活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験の結果から考察を行い、レポートにまとめる方法を学ぶ。</li> <li>・クラスで探究の内容の発表を行う。</li> <li>・大学入試に対応した講習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭で探究の内容の発表を行う。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かなスポーツライフの多様なかわり方を状況に応じて選択し、卒業後も継続して実践する資質・能力を育成する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年共通の準備運動、トレーニングの実施</li> <li>・1年次に体力・運動能力向上 体づくり運動</li> <li>・2年次以降、球技を中心とした種目（スキルアップ）</li> <li>・1・2年夏季水泳、冬季長距離走を重点種目とする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年次では種目選択制を実施</li> <li>・体育活動委員会を中心に体育的行事の実施</li> <li>・健康安全について保健との関連</li> </ul>
芸術	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性豊かに表現する力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期末に実技テストを実施</li> <li>・鑑賞の授業の充実</li> <li>・グループワーク等対話的な授業構成の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表形式の実技テストの実施</li> <li>・生徒への評価の観点の共有と、学習到達度の可視化。</li> </ul>
英語	<ul style="list-style-type: none"> <li>4技能に繋がる「語彙力」の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュ英の全クラスで毎週単語テストを実施</li> <li>・各定期考査で15点分の語彙問題を出題</li> <li>・各長期休業明けに語彙力テストを実施し、高得点者を表彰</li> <li>・語彙アプリも活用し、生徒の自主的な取り組みを奨励する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で英検3級、2年生で英検準2級、3年生で英検2級取得を目標に総合的な英語力の指導をする。</li> <li>・授業でパフォーマンステストを実施し、学習した語彙を実際に活用し、定着させる。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人々と協働し、地域社会に参画する態度の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材の活用</li> <li>・小中学校との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ものづくりマイスターを活用した専門技能の習得</li> <li>・地域の産業を活用した課題研究の充実</li> </ul>
情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>「問題の発見・解決」につなげる実習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンソフトなどの使い方を教えるだけでなく、それらを問題の発見・解決のために使えるようにする。</li> <li>・民間補助教材を導入し、問題解決を題材とした実習教材を導入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループによる探究的な実習を実施する。</li> <li>・プログラミングを用いて、生徒の発想から仕組みをつくる実習を取り入れる。</li> </ul>
商業	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報機器利用の技能を高まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力技術「キータッチメソッド」を身につけることで、PDCAのサイクルを実感する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部で行われるワープロ検定に取り組む</li> <li>・外部で行われる表計算検定に取り組むことで技能を高める。</li> </ul>
農業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業教育を通じて基礎学力の定着と、実生活や今後の進路に活かせる知識と技術を身に着けさせる</li> <li>・農業教育を通じて「課題解決」につなげる実習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上、定着を図る授業、補習・補講の実施</li> <li>・農業実習を通じ職業教育として社会性を培う、職業人としての資質と態度の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校外及び外部指導者による教育活動の充実</li> <li>・地域連携・地域貢献の強化し地域の課題解決を図る実習の実施</li> <li>・農業技術検定などの資格取得</li> </ul>